

## 修正箇所

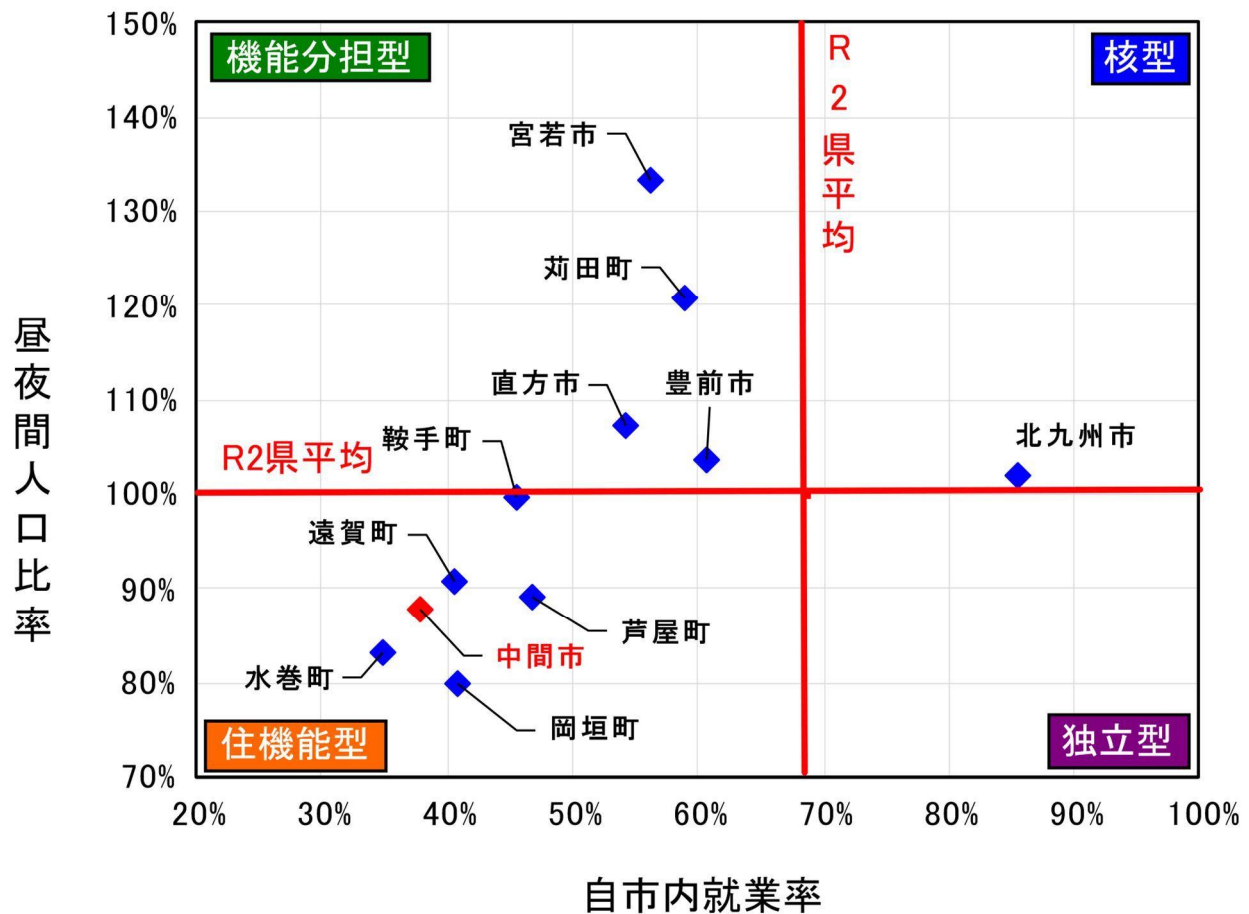
ページ	修正内容
2-17	周辺市町の表示を修正 (中間市、遠賀 4 町、鞍手町、直方市、宮若市、北九州市、苅田町、豊前市に修正)
2-47、48	最新の施設情報に更新 (施設番号18の所在地の修正、施設番号 26 番の施設名称、所在地、位置の修正)
3-4	図中の矢印を修正
3-5	中心拠点の機能の文章修正 ※「 <span style="background-color: black; color: black;">■</span> 公益拠点との連携や都市機能～」の削除 配置イメージを修正 (JR 中間駅周辺を中心拠点から地区拠点に変更)
3-9	図中の中心拠点・地区拠点の位置を変更 (中心拠点を JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間に変更) (JR 中間駅周辺を地区拠点に変更)
3-11	中心拠点・地区拠点・公益拠点の文章修正 ※中心拠点:「JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅にまたがる」⇒「JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間の」 ※地区拠点:「JR 中間駅周辺」を追加 ※公益拠点:市役所周辺の方針を修正
3-16	図中の中心拠点・地区拠点の位置を変更 (中心拠点を JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間に変更) (JR 中間駅周辺を地区拠点に変更)
3-21	図中の中心拠点・地区拠点の位置を変更 (中心拠点を JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間に変更) (JR 中間駅周辺を地区拠点に変更)
3-27	中心地の再生の文章修正 ※「JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅に及ぶ」⇒「JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間の」

## 2-8. 都市性格分類

- ・ 住機能型に特化している

本市は、令和2年現在、県平均と比較して昼夜間人口比・自市内就業率ともに低い状況にあり、都市性格指標としては、「住機能型」に分類されます。

また、流出・流入人口の指標からもみられるように、北九州市のベッドタウンとしての機能を有していることがうかがえます。



資料：国勢調査

参考：都市性格概要

核型	自市内で働く人が多く、就業・就学者を含めた昼間の人口が多い都市であり、生活圏における中心都市として機能
独立型	自市内で働く人が多いが、昼間の人口は多くない都市であり、1都市である程度独立した生活圏を形成
住機能型	自市内で働く人は少なく、夜間の人口が多い都市であり、周辺都市等のベッドタウンとして機能
機能分類型	自市内で働く人は少ないが、昼間の人口が多い都市であり、職等の機能に特化

## 7-2. 生活利便施設

### (1) 商業施設の分布状況

- 商業施設は32店舗あり、市街化区域内に分布

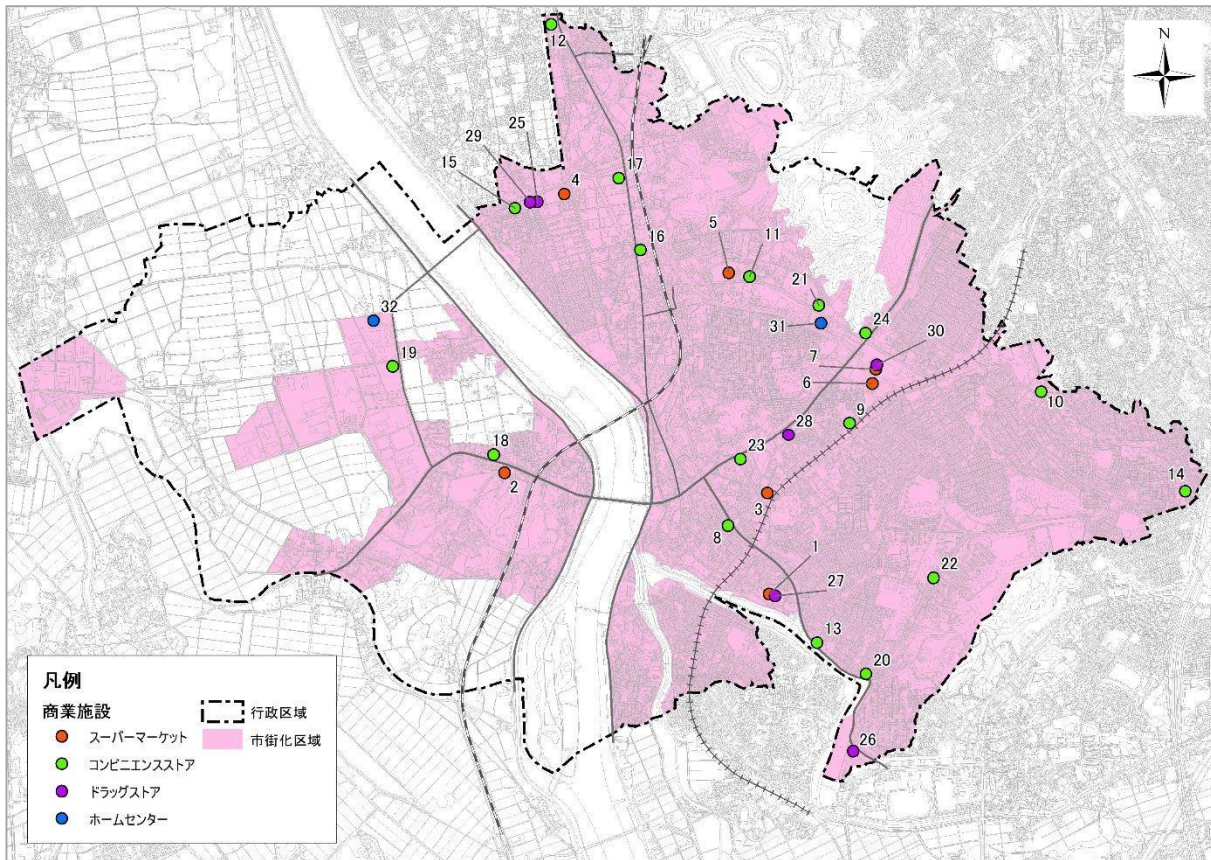
本市の商業施設数は、スーパーマーケット7箇所、コンビニエンスストア17箇所、ドラッグストア6箇所、ホームセンター2箇所、合計32箇所となっています。

全ての商業施設が市街化区域内に分布しています。

表：商業施設一覧

施設分類	施設番号	施設名称	所在地
スーパーマーケット	1	ハローデイ中尾店	中間市中尾2-17-5
	2	新鮮市場さくら館	中間市大字垣生659
	3	レガネット中間	中間市東中間1-8-8
	4	株式会社ミートイン・ハイマート中間店	中間市中鶴4-5-7
	5	ダイレックス中間店	中間市岩瀬1-9-1
	6	メガセナートライアル中間店	中間市上蓮花寺2-1
	7	イオンなかま店	中間市上蓮花寺1-1-1
コンビニエンスストア	8	ローソン／中間三丁目店	中間市中間3- 16-20
	9	セブン・イレブン／福岡中間店	中間市東中間3- 2-7
	10	ローソン／中間通谷二丁目店	中間市通谷2-1-1
	11	セブン・イレブン／中間駅前店	中間市岩瀬1- 7-1
	12	セブン・イレブン／中間岩瀬西町店	中間市岩瀬西町31-8
	13	セブン・イレブン／中間小田ヶ浦店	中間市弥生1-14-25
	14	セブン・イレブン／中間通谷店	中間市通谷6-146-3
	15	セブン・イレブン／中間中鶴店	中間市浄花町20-1
	16	セブン・イレブン／中間長津2丁目店	中間市長津2-25-2
	17	ローソン／中間長津三丁目店	中間市長津3-9-3
	18	セブン・イレブン／中間垣生公園前店	中間市大字垣生844-3
	19	ファミリーマート／中間垣生店	中間市大字垣生1308
	20	ローソン／中間大辻町店	中間市大辻町4-7
	21	ローソン／中間蓮花寺店	中間市蓮花寺2-5-13
	22	Yショップしたま	中間市池田1-25-32
	23	ミニストップ／中間徳若店	中間市東中間1-1-1
	24	ミニストップ／中間蓮花寺店	中間市蓮花寺2-13-1
ドラッグストア	25	コスモス中鶴店	中間市中鶴4-7-1
	26	コスモス七重店	中間市七重町31-14
	27	ドラッグ新生堂／中間中尾店	中間市中尾2-14-20
	28	ドラッグ新生堂／東中間店	中間市東中間2-2-13
	29	サンドラッグ中鶴店	中間市中鶴4-8-20
	30	ウエルシア薬局イオンなかま店	中間市上蓮花寺1-1-1
ホームセンター	31	グッデイ中間店	中間市蓮花寺2-1-1
	32	ホームプラザナフコ中間店	中間市大字垣生1500-2

資料:iタウンページ



図：商業施設分布状況図

第5次中間市総合計画
<b>将来像</b> 豊かな水源とともに織りなされた歴史と文化のもと市民が希望を抱く「夢がかなうまち なかま」 <b>将来都市構想</b> ①「なかま」の魅力を向上      ②若い世代の流入と住民の定着による地域資源の増加 ③地域力を高める                ④持続可能なまちをつくる
北九州都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マスタープラン)
<b>都市づくりの理念</b> 【理念①】持続可能な、快適で魅力ある都市生活を身近な街なかで送ることができる都市づくり 【理念②】産業の多様化、交流の活発化による、にぎわいと活力のあるまちをつくる 【理念③】自然の保護や都市ストックの活用により、環境にやさしいまちづくりを進める 【理念④】多様な主体が参画するまちづくり 【理念⑤】自立し、共生し、連携しあう都市をつくる

都市計画マスタープランの総合的・重点的な課題
<b>いかに「まちの高齢化」に対応するか</b>  <b>いかに「利便性の高い住みよいまち」を維持するか</b>  <b>いかに「夢がかなうまち」を実現するか</b>

中間市都市計画マスタープラン基本目標
<b>将 来 像</b>  豊かな水源とともに織りなされた歴史と文化のもと市民が希望を抱く「夢がかなうまち なかま」 ●利便性に富んだコンパクトなまちづくり ●人や地域がつながり多様な交流と活力が生まれるまちづくり
<b>都市づくりの理念</b> ●持続可能な都市づくり ●環境にやさしいまちづくり ●連携しあう都市づくり
<b>都市づくりの基本目標</b>  【目標①】健康のまちづくり ●公共空間のユニバーサルデザインなどの老朽化対策による安心して暮らせる環境の形成 ●健康づくりにつながる公共交通や徒歩、自転車による回遊性の向上 ●子育て・福祉・防災など市民同士の支えあいを促進する交流の場の形成  【目標②】選ばれる住まいづくり ●本市の都市の利便性を活かし、住みたい・住んでみたいと感じる魅力ある住まい環境づくり ●魅力ある住まい環境を支える都市基盤整備や安全・安心なまちづくりの推進 ●コンパクトな都市構造とともに、周辺の自然環境と調和した暮らしやすい住環境の整備  【目標③】関係人口を増やす魅力づくり ●本市の自然、文化など、本市が持つ個性や魅力を活かした多世代・多様な関係人口の増加につながる魅力的で求心力のある拠点の形成 ●新たな魅力の創出による、都市のにぎわいづくりや「夢がかなうまち」の実現 ●近隣都市との相互連携により、魅力ある都市づくりの推進



## 5. 将来都市構造

都市づくりの目標を実現するために、誘導すべき都市機能や適切な土地利用・都市施設の配置方針など、将来的に実現を目指す基本的な方向性を「都市構造」として整理します。

都市構造は、以下に示す3つの要素で構成します。

### ＜都市構造を構成する要素＞

- 都市拠点：都市活動の中心的な場で特性に応じた機能の集積を図る
- 都市軸：都市間交流や拠点のネットワークを担う動線、線形
- ゾーン：主な機能毎に区分した土地のまとまり

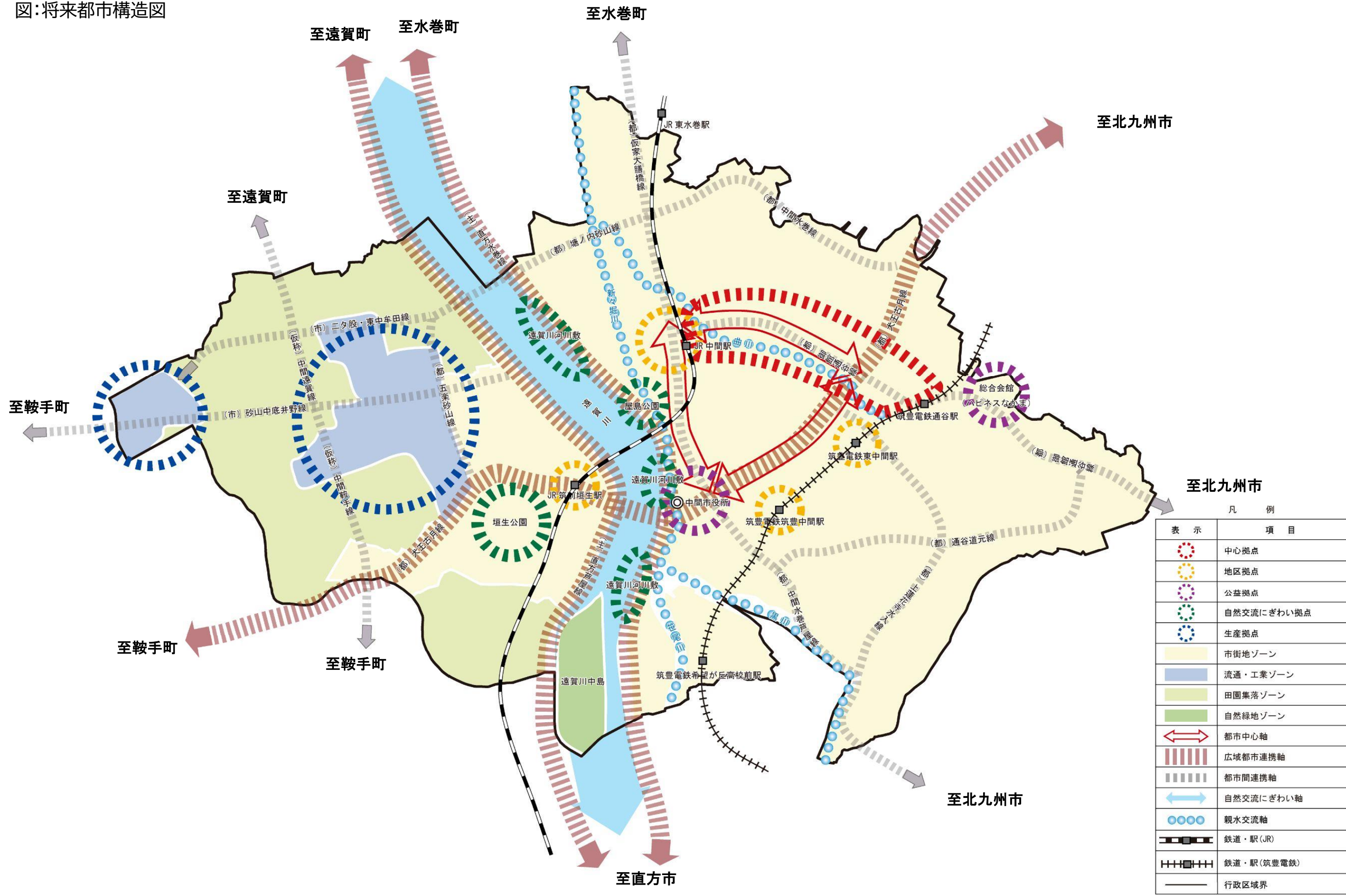
### 5-1. 都市構造の構成要素

#### (1) 都市拠点

本市の「まちの顔」となる中心地、地域住民の身近な生活利便が集積する場、地域の文化や自然を活かした人々が憩い交流する場、また多くの人々が働く場として、以下の拠点を設定します。

名称及び機能	配置イメージ
<b>①中心拠点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市生活を営む上で核となる地区で、広域交流を促す商業・業務・医療・福祉機能や公益・文化施設等の維持・集積を図り、本市のにぎわいや活力を形成する地区を中心拠点として位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筑豊電鉄通谷駅～JR 中間駅間</li> </ul>
<b>②地区拠点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主に周辺住宅地における住民の身近な生活利便性を確保するとともに、公共交通へのアクセス等の向上を図るなど、歩いて暮らせるまちづくりの核となる地区を位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JR 中間駅周辺</li> <li>○ JR 筑前垣生駅周辺</li> <li>○ 筑豊電鉄筑豊中間駅周辺</li> <li>○ 筑豊電鉄東中間駅周辺</li> </ul>
<b>③公益拠点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 誰もがより住みやすい・住みたいと感じる住環境形成にむけて、公共施設の整備や利活用、災害対策の強化を図るとともに、市民への公共サービスの提供拠点、市内外の医療・保健・福祉活動等の拠点となる地区を位置づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市役所周辺</li> <li>○ 総合会館(ハピネスなかま)周辺</li> </ul>

図:将来都市構造図



## 1-2. 都市づくりの方針

### (1) 拠点の創出

#### 中心拠点

JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間の中心拠点は、本市の活力・にぎわいの中心地であり、商業施設や公共施設など様々な都市機能が集積しています。

本市の活性化を牽引する拠点として、さらなるにぎわい創出にむけ、様々な都市機能の維持・誘導、公共施設等の統廃合に伴う跡地の有効活用、ハード・ソフトの一体的な事業を検討し、魅力向上を図ります

また、中心拠点の形成にあたっては、歩きやすい空間づくりや交通渋滞対策などアクセスしやすい環境形成を図ります。

#### 地区拠点

JR 中間駅周辺、JR 筑前垣生駅周辺、筑豊電鉄筑豊中間駅周辺、筑豊電鉄東中間駅周辺は、地区住民の身近な生活利便性の確保を図るとともに、駅へのアクセス強化や移動の連続性の確保など、地区の身近な生活拠点としての整備を進めます。

#### 公益拠点

市役所周辺は、行政機能の中心を担うことから、市民への公共サービスの提供や災害対策の強化等を図ります。

総合会館(ハピネスなかま)周辺は、福祉機能の維持・強化や福祉活動・情報の支援・発信にむけた環境整備を図ります。

#### 自然交流にぎわい拠点

垣生公園周辺は、レクリエーションや歴史、農産物などの資源を活用した市内外の交流を促進し、拠点としての整備・充実を図ります。

また、遠賀川河川敷周辺や屋島公園周辺は、市民のスポーツ・健康交流の場の形成や、遠賀川の豊かな水と緑を活用したにぎわいの場の形成を図ります。

また、これらの拠点は、身近な動植物の生息環境として、自然環境の保全を図ります。

#### 生産拠点

本市の雇用の創出、産業の発展を担う五楽・虫生津工業団地は、企業誘致や生産機能の強化を目指し、整備済みの事業所用地の活用促進と(仮称)五楽北部工業団地の整備の検討を図ります。

### (2) 住居系土地利用の方針（中高層住宅ゾーン、低層住宅ゾーン）

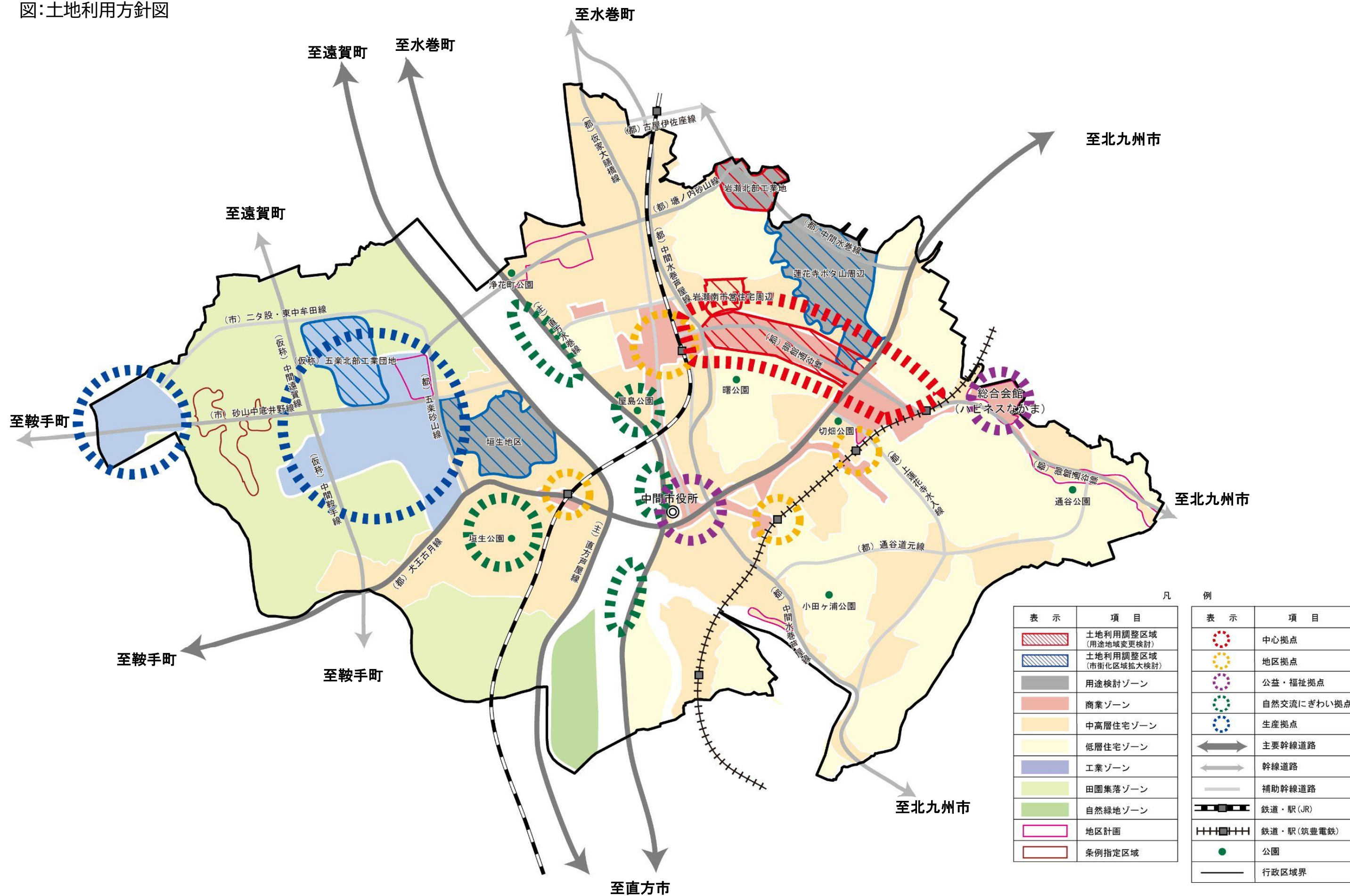
#### 多様な住まい環境の創出

用途地域やその他法規制に基づく適正な土地利用の規制・誘導により、集合住宅や戸建住宅の立地誘導など、地域の特性に応じた住まい環境づくりを進めます。また、集約型都市構造の形成にむけて、住宅とともに多様な機能が集積する利便性の高い住環境の整備を目指します。

特に、中心拠点周辺の中高層住宅ゾーンにおいては、商業・業務施設及び公共・公益施設と調

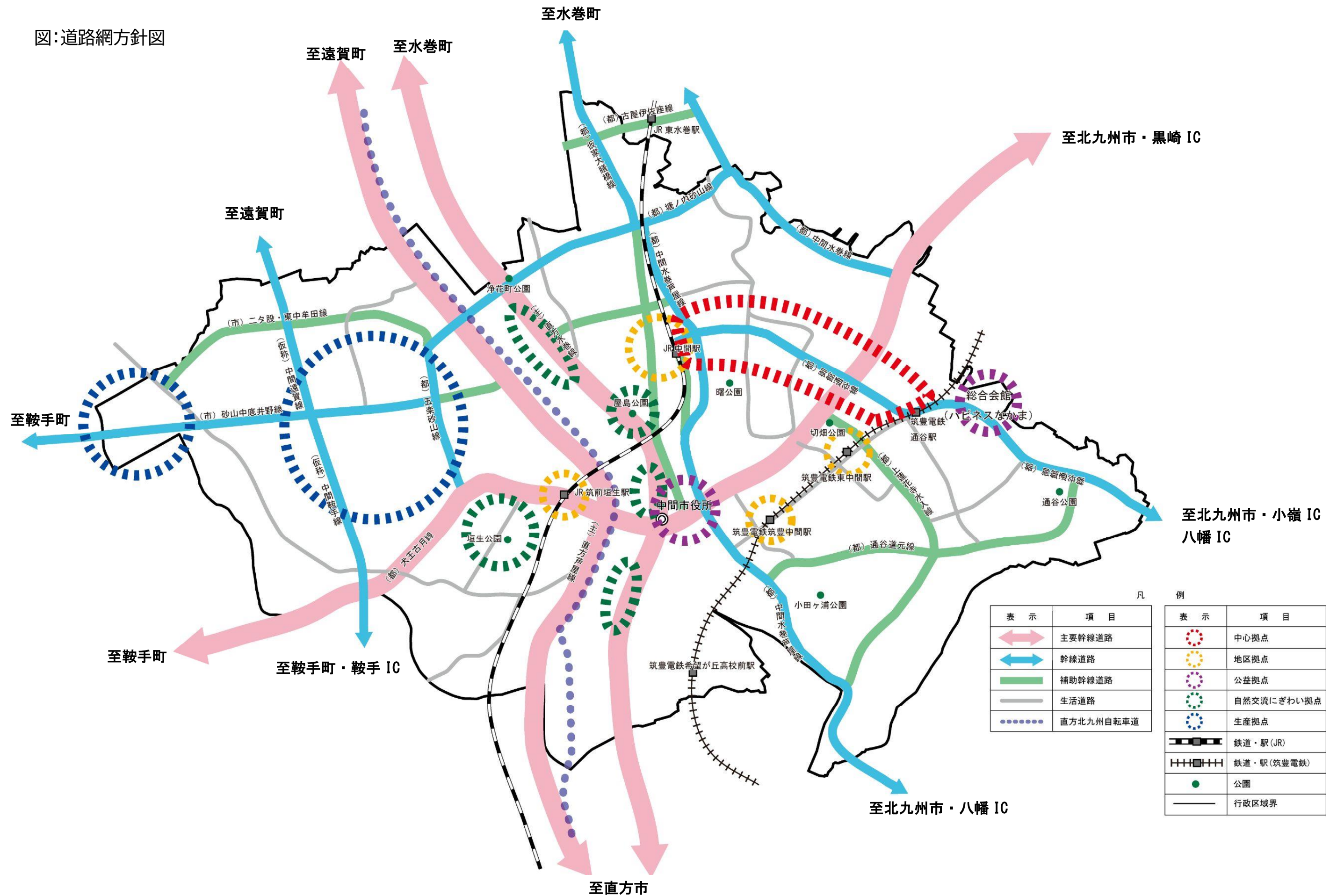


図：土地利用方針図





図：道路網方針図



## (2) にぎわい創出にむけた拠点の創出

### 中心地の再生

JR 中間駅から筑豊電鉄通谷駅間の中心拠点は、商業・業務・医療・福祉・公益・文化施設など様々な都市機能の維持・充実を促進し、さらなるにぎわい創出にむけたハード・ソフトの一体的な事業の検討を図ります。

また、中心地のにぎわい形成にむけて、歩行空間の環境整備や土地の高度利用、道路・緑地空間の活用など官民連携を含めた取組みを検討します。

### 垣生公園を中心とした遠賀川西部の活性化

歴史や自然、またレクリエーション機能を有する垣生公園周辺において、緑の拠点としての整備・充実を促進するとともに、農産物直売所(新鮮市場さくら館)の活用や地域住民の交流施設の活用により、自然交流、文化交流、人の交流による遠賀川西部のにぎわい創出を図ります。

## (3) 良好な住環境の形成

### 良好な住環境の維持・向上

良好な住環境の維持・向上にむけて、地域住民の意向を踏まえながら、協議・調整を実施し、地区計画など、地域の特徴に応じた規制・誘導方策の推進を図ります。なお、実施においては、地域住民主体のまちづくりを誘導するため、各種支援策を検討します。

### 住宅供給の促進

公営住宅の住環境の向上と機能改善を進めるとともに、老朽化した施設については、建替えの検討を進めます。

また、良好な住まい環境の創出にむけて、ユニバーサルデザインに配慮した住宅整備や高齢者・障がいのある人に対応した住宅の整備にむけた支援を図ります。

本市への定住促進にむけて、PR 活動及び補助・支援策の検討を図ります。

### 空家対策等の実施

空家、空き地等については、空家情報のデータベースの整備や空家バンク制度の積極的な活用の促進、空家等の相談支援の推進により利活用を図ります。